

ります

◆学生会： (㊟ 森田直晃委員)

静岡教区学生会「春の学生おぢばがえり」教区より13名、支部より3名の学生が参加くださいました。お声がけ有難うございました。

◆広報庶務部・書籍： (㊟ 山口正洋委員)

◆ふれあい折り込み5月は3組です。

◆時報手配り： (㊟ 澤田常和委員)

4月手配りは5・12日。5月17・24日拠点教会到着となります。5/3は西遠支部は直送となります。

◆少年会： (㊟ 小田木智嗣委員)

少年会静岡教区団総会が3/29 教務支庁で開催され会員4名育成2名の参加がありました。ご協力有難うございました。



春の学生おぢばがえり教区集合写真(上)少年会教区団総会おてふり総立ち(左)



◇4月 定例支部活動

◆合唱団アヴァンティー練習日

とき 4月3・17日

会場 鴨江アートセンター (206号)

◆あらみち会： (㊟ 鈴木通信委員)

日時 22日(月) 9時15分～12時

会場 久努浜分教会

講話 鈴木顕正先生

一人も多くの方のご参加を！

送迎 浜松駅8時20分送迎レイン出発

4月に限り会場・講話の先生が年間予定表と異なります。お間違えの無いよう

にお願いたします。

◇定例委員会・例会

◆運営委員会： 西大濱分教会

とき 5月2日(木) 9時30分

◆青年会献血： 休会

とき 4月 日()

◆婦人会： 篠原分教会

とき 4月30日(火) 10時

駅送迎レイン 9時30分発

しおり作りの続き

◇支部例会

当面の間、支部例会は休会とさせていただきます。各組ごとの活動をお願いいたします。

◇各組活動

【1組】…… 組長 鈴木 豊司(濱 東)

〈配本・集金〉 4月28日(日) 濱 東

〈合同会議〉 5月6日(月) 19時00分 濱 東

〈ひのきしん〉 5月6日(月) 5時30分 風揚げ場

【2組】…… 組長 渡邊英一郎(濱 松)

〈配本・集金〉 5月6日(月) 6日 午前中

【3組】…… 組長 長田 虎夫(濱 都)

〈会長会議〉 4月27日(土) 10時 濱 都

〈班長会議〉 月 日() 時 分 休 会

〈ひのきしん〉 日時未定 曳 馬

【4組】…… 組長 谷口 和幸(四日市浜)

〈合同会議〉 5月9日(木) 9時30分 四日市浜

【5組】…… 組長 古山 慶仁(濱 宿)

〈会長会議〉 4月28日(日) 9時30分 濱 宿

【6組】…… 組長 宮本 善成(長 上)

〈合同会議〉 5月9日(木) 19時 東濱名

【7組】…… 組長 太田 貴之(濱 名)

〈組例会〉 5月9日(木) 10時 篠 原

ふれあい

2024年 4月号 No.476 支部と遠西

このたびもまたない事やしらぬ事ばかりゆうてまたをしへかけ 第八号ー41

全教一斉ひのきしんデー

教祖年祭活動とひのきしん

長きに亘ったコロナ対策も、新年度からは、特例措置が終了するなど、一つの区切りを迎えました。また、年金・福祉や、労働条件などの制度変更や、食料品の値上げなど、私たちの生活に関わる様々な面が変わってきます。皆様のご家庭でも、新しい生活のスタートがあることでしょう。

私たちの信仰生活においては、元日を年の始めとして、各々の心定めと共に、年頭の真柱様のお言葉を指針として一年の奮起を誓わせて頂きますが、三年千日の年祭活動も半ばに差し掛かろうとする今、打ち続く世上の混乱に惑わさ

れることなく、にをいがけ・おたすけに励ませて頂きたいものです。

この4月、恒例の「全教一斉ひのきしんデー」を迎えます。ひのきしんの意義については、改めて申し上げるまでもありませんが、ひのきしんは、私たちにとっては、信仰実践の態度であり、結果的ながら、私たちの御教えを、周りの方々、社会に伝えて行く、にをいがけに通じる行いにもなります。

2月、本部月次祭の神殿講話で浜田道仁本部長は、今、一人でも多くの方に、「天理教」「天理王命」という言葉を伝え、知って貰うことが大切との思いか

ら、ご自分の大教会では、神名流しを実動項目とされていることや、ご自身も街頭に立たれて実践されている旨をお話になれました。そのお話の中で、「神がこの屋敷に天下つて七十五年たてば、日本あらあらすます。それから先は、世界隅から隅まで天理王命の名を流す」

との教祖の口伝を挙げられ、立教から75年にあたる、明治45年当時、日本の人口が5千万人であった中、お道の信者が約50万人に1人が信者であったという中で、「天理教」という名を知らなかった人はいないと思われるが、今現在はどうだろうか：と考える時、まずは「天理教」「天理王命」の言葉が一人でも多く

の人の目に耳に届くようにと努められているとのことでした。

現在、能登の被災地では、各教区からの災救援をはじめ、多くの教友が、被災をされた方に寄り添いながら、ひのしんに励んでおられます。そして、その態度に接した方々は、ボランティアに止まらないひのきしんの態度に、感謝の言葉を伝えて下さると聞かせて頂きます。

私たちの地域においても、様々な形で、長年続けてきたひのきしん活動は、各所で、また多くの方から期待を寄せて頂ける活動になっています。

明るく笑顔で、真心込めて懇切丁寧に、一手一つにひのきしんにあたる姿と共に、「天理王命」の神名「天理教」の御教えを、世の中に弘めて行きたいと思えます。

ご案内のチラシをご覧頂いて、「全教一斉ひのきしんデー」へのご参加をお願い致します。

昔は、熱い学説が主でした。火の玉学説とも言われました。私が子供の頃も、このように教えられたと記憶しています。この学説によりまずと、原始地球付近の温度は、約200度Kで、すべての物質がガス状でした。このガスの円盤が冷えてきますと、いろいろな物質が順番に凝縮して参ります。こうして出来てくる地球は、外側から冷えて参りますが、中心部は熱いままで残っている。だから今日では、外側は生物が住めるほどに冷たくなってきましたが、中心部は高温で、火山の噴出も見られるというのです。これが、「高温凝集説」です。

今一つは、冷たい学説「低温凝集説」です。この説によりまずと、原始地球の表面温度は、摂氏0度程度の低温であったというのです。このようなガスの塵が、緩やかに凝集しますと、粒子が衝突したり、密度が高まりますと、凝集熱が出ます。だから、外側は低温ですが、中心部がだんだん暖まって参ります。中心部が、絶対温度約2千度になってきますと、その温度がだんだん外側に波及して、生物が住めるような現在の温度になってきたというのです。このふたつの学説は、今でも論争が続いてい

ます。なんとなく、冷たい学説の方が有利のような気がする、というところでしょうか。いずれにしても、原始地球上で、「いのち」が誕生したのは、あまり熱くない泥のスープのような中であつたようです。それでは、この泥のスープの中で、最初、生物無しにどうしてタンパク質が出来たのでしょうか？それを理解するためには、原始地球の大気に目を向ける必要があるようです。

現在の地球は、独特の大気圏に囲まれています。人工衛星を打ち上げるとき、ここを突破するのに、大変なエネルギーが要るわけです。この大気を突破してしまいますと、あとは殆ど抵抗がありませんから、燃料がなくなるとどんどん飛んでいくことは、あなたもご存知でしょう。

この宇宙空間には、太陽の強大なエネルギー、熱エネルギーをはじめ、各種の強烈な紫外線が注がれています。だから宇宙飛行士は、宇宙服で守られなければ、宇宙船から外に出ることはできません。この紫外線が、そのまま地球に注がれたら、現在の地球上の生物は、ひとつとして生きていくことができま

せん。

ところが有難いことに、大気圏があります。特にその中のオゾン層は、この強大な太陽のエネルギーを吸収して、現在の地球の生物にとって、ちょうど良い量だけの紫外線を地上にもたらしているわけです。そばかすが出来る程度の量です。これがもう少し増えると、皮膚ガンが増加することは、既に確かめられているのです。

しかし、原始地球の大気圏には、酸素やオゾンはありませんでした。最初は、水素とヘリウムだけだったそうです。それが、第一次大気といわれています。地球の外殻、マントルといわれる層は、殆ど鉄です。だから、水が分解されて出て来る遊離の酸素は、鉄と結合して、酸化鉄となる。すなわち、地球が錆びる方に使われて、なかなか大気を作る成分にはなれなかつたようです。水素とヘリウムだけの、第一次大気で始まった地球は、その後、メタンやアンモニアが加わる、第二次大気を作っていました。いずれにしても、酸素がありませんので、還元大気圏だったといわれています。

【続く】

山本利雄先生 (ラジオ講話)

「いのち」 - 5 科学進化 - その2

支部だより 立教 187年 R6.4 NO.582

◇表統領挨拶
・日頃は地域活動の上にご苦労いただきました。ありがとうございます。
現在、能登半島地震は復興も進まず、たいへんな苦勞を強いられて避難生活をしている方、被災した建物の整備も進まない状況であります。引き続き、しっかりと被災地復興の願いを続けさせていきたいと思ひます。
・3月25日で両統領の任期が満了し、新しい任期を迎えますが、両統領は留任となります。それに伴い、本部では人事の移動がございました。『天理時報』をご覧いただければと思ひます。人事というのは、人の顔ぶれは変わるけれども、それによって何もかもがひっくり返るわけではありませぬ。年祭活動をしつかりとつとめさせていただきますことを心として、今後の業務を肅々と引き継いで、つとめさせていただきますと思ひます。期が変わることを前向きに受け止めて、なお一層の年祭活動の充実を図らせていただきたいと思いますので、どうかお心寄せをいただければ、ありがたく存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。
4月は年度初めで、教祖ご誕生祭の月で

あります。婦人会の総会などで賑やかな月になりますし、だんだんと気候も温かくなるので、それに伴い、私たちの動きも益々活発になるように働いていきたいと思ひます。年頭の真柱様のご挨拶で、「あつという間に年祭活動の後半ということになっていく」とおっしゃいました。その意味が「ぼやぼやしている」と、そうなるぞ」というふうには聞こえませんでした。そうならないように、年祭活動の2年目をしっかりと積み重ねていくことを願ひしたいと思ひます。今後も教区としての地域活動を、心一つにお進めくださいますようお願い申し上げます。

- ◇本部・教区事項
・ひのきしんスクール
講座「大人の発達障害」
開催日時：立教187年5月26日～27日
会場：おやさとやかた南右第2棟3階
対象：ようぼく 60名 受講御供：2千円
締切日：5月15日(水)
◇支部事項
◆書籍担当…………… (㊟吉岡孝広委員)
『さんさい』次発行は7月となり1部220円で季刊誌となります。『リトルマガジン』4月より1冊150円となります。
◆布教部…………… (㊟長田虎夫委員)

・過ぎしやすい季節、年祭活動勇ませていただきますしよう！
◆教務部…………… (㊟吉岡弘和委員)
県庁提出書類は6/3までにお願ひします。
◆ひのきしん部…………… (㊟木船嘉弘委員)
いよいよ4/29は全教一斉ひのきしんデーです。友愛のさと・稲荷山公園を会場として行います。5月4～6日は凧揚げ会場のひのきしんをさせていただきます。今年も皆様お誘いあわせて参加をよろしくお願ひいたします。詳細はチラシを参照ください。

- ◆災害隊…………… (㊟水野慎治委員)
随時要請があれば出動させていただきますので心づもりをお願いいたします。
◆婦人会…………… (㊟木船真澄委員)
4月30日(火) 婦人会例会 10時
会場 篠原分教会 しおり作り
持物 ハッピーおふでさき・扇・カッター・ハサミ・テープのり等
9時30分送迎レイン出発
ハーブの会 4月10日(水) 13時～14時 zoomにて例会
・女子青年 4月29日(月・祝) ひのきしんデーに参加ください
◆青年会・献血担当…………… (㊟杉本真俊委員)
4月 献血呼びかけひのきしんは休会とな